

公 告

地方自治法施行令（昭和22年政令第16条）第167条の2第1項第3号の規定により下記のとおり随意契約を行うので、和歌山県財務規則（昭和63年和歌山県規則第28号）第108条の2第1項の規定により公表する。

平成29年3月21日

和歌山県知事 仁坂 吉伸

1. 契約の内容

平成29年度 和歌山県議会だより点字版の印刷発行業務
（詳細については別添仕様書のとおり）

2. 契約相手方の決定方法

地方自治法施行令第167条の2第1項第3号に規定されている、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第12項に規定する障害者支援施設、同条第26項に規定する地域活動支援センター、同条第1項に規定する障害福祉サービス事業（同条第7項に規定する生活介護、同条第14項に規定する就労移行支援又は同条第15項に規定する就労継続支援を行う事業に限る。）を行う施設若しくは小規模作業所（障害者基本法第2条第1項に規定する障害者の地域における作業活動の場として同法第18条第3項の規定により必要な費用の助成を受けている施設をいう。）、若しくはこれらに準ずる者として総務省令で定めるところにより普通地方公共団体の長の認定を受けた者において製作された物品を普通地方公共団体の規則で定める手続により買い入れる契約、障害者支援施設、地域活動支援センター、障害福祉サービス事業を行う施設、小規模作業所で、和歌山県内にある施設のうち、当該点字版の印刷発行業務の条件を満たし、受託を希望する者から提出された見積書の最低価格であった者を相手方とする。

3. 契約の相手方の決定日時

平成29年4月3日（予定）

4. 契約の相手方の選定基準

上記2に規定する者で県税、消費税又は地方消費税を滞納している者でない者

5. 見積書等の提出期限及び提出場所

（1）提出期限

平成29年3月29日 午後5時

（2）提出場所

和歌山市小松原通1-1 県庁北別館2階

和歌山県議会事務局総務課

電話 073-441-3560

6. その他

契約を締結する者は、契約金額の100分の10以上の額の契約保証金を納入しなければならない。契約保証金の納付の方法、納付の免除、還付等は、自治法令第167条の16及び財務規則第92条から第94条までの規定の定めるところによる。

問合せ先

和歌山県議会事務局総務課 回り道

電話 073-441-3560 FAX 073-441-3559

説明事項

1 見積方法等について

- (1) 参加者は、見積書に必要事項を記入の上、提出を行うこと。
- (2) 見積金額は、当該業務を遂行するための価格の総額とする。
なお、見積金額は、当該業務に係る一切の諸経費を含めた額とする。
- (3) 消費税を除く金額を見積書に記載すること。また当業務は消費税の非課税取引に該当するため見積書の金額をもって契約金額とする。
- (4) 見積書の記載事項を訂正する場合は、当該訂正部分について押印をしておかなければならない。ただし、見積書の見積金額は、訂正することができない。
- (5) 見積書は、封筒に入れ密封し、かつ、封皮に氏名（法人の場合その名称又は商号）及び業務内容を表示しなければならない。
- (6) 見積書を提出した後は、見積書の書換え、引換え又は撤回をすることができない。

2 見積書の無効

次に掲げる見積書は無効とする。

- (1) 選定基準に該当しない者が提出した見積書
- (2) 所定の時刻までに提出されなかった見積書
- (3) 参加者が2以上見積書を提出した場合のそのいずれもの見積書
- (4) 明らかに連合その他の不正な行為によってされたと認められる見積書
- (5) 記名押印を欠いた見積書
- (6) 金額を訂正した見積書
- (7) 誤字、脱字等により意思表示が不明瞭な見積書
- (8) その他条件に違反した見積書

3 その他の提出書類

- (1) 校正作業についての計画書を見積書とともに提出すること。
※校正者の経験実績や校正体制等を記載し、校正能力がある根拠を示して下さい。
様式は自由。
- (2) 県税及び消費税又は地方消費税を滞納している者でない証明書を見積書とともに提出すること。

4 契約の相手方決定の方法等

- (1) 提出された見積書記載金額のうち最低の価格をもって上記2に該当しない有効な見積書の提出を行った者を契約の相手方とする。
- (2) 落札者となるべき同価の見積金額を提示した者が2人以上あるときは、当該見積書を提出した者にくじを引かせて落札者を決定するものとする。この場合において、当該見積書を提出した者に、くじを引く場所及び日時を電話又は文書（ファクシミリを含む。）で通知する。
なお、当該見積書を提出した者で、くじを引かない者があるときは、この者に代わって当該事務に関係のない職員にくじを引かせるものとする。